



# 横浜市立富岡小学校 学校だより 5月号



5組さん作成のこいのぼり

新緑が目まぶしい5月となりました。駅から学校まで続く「せせらぎ緑道」の草花も紫色の花をつけた小さな野草から気温の上昇とともに、黄色いヤマブキが色鮮やかとなり、また、樹木の緑がぐんと広がってきています。

子どもたちは入学、進級して約ひと月。その喜びを体全身にみなぎらせ毎日の学校生活を送っています。富岡小のこいのぼりも子どもたちに負けじと元気よく泳いでいます。

## 子どもたちは 進級を喜び 新たな気持ちで頑張っています！

6年生と1年生が同じ昇降口になりました。6年生は、最高学年の自覚、富岡小学校の「大黒柱」として、1年生に手本を見せてくれています。運動会に向けての取組でも全校をリードしてくれることでしょう。

子どもたちは、休み時間になるとボール遊び、鉄棒、鬼ごっこ、リレーなど体を思いっきり使って遊んでいます。1年生も学校生活に慣れ、広い運動場にとまどいながらも笑顔いっぱい体を動かしています。体を動かしておなかすくのか、給食ももりもり食べています。休み時間十分に動いた後は、授業に集中。メリハリのきいた学校生活が送れています。5月26日に行われる運動会の取組を通して、「心と技」を磨いていきます。

## みんな笑顔！！6年生、「エプロンたい」の皆さんの活躍

1年生の学校生活のお手伝いに6年生、「エプロンたい」の方々が入学式の翌日より20日まで入ってくれました。

朝、8時15分、昇降口の扉が開くと同時に、1年生が「おはようございます」と元気な笑顔の挨拶で学校生活が始まります。靴箱の前では、6年生が靴の入れ方の声かけや教室へ誘導します。「エプロンたい」の方々は、教室でランドセルの中身を出す様子を見守ってくださったり、給食時は、配膳のお手伝いをしてくださったりしました。6年生は交代で4時間目の授業が終わると1年生の教室で一緒に給食をとります。給食の終わりには、牛乳パックの開けた方を教えます。下校時には、途中まで「エプロンたい」の方々もついてくださいました。すべてに手を貸すのではなく、見守りながらできないところをちょっとお手伝いすることで、1年生の自立の支えとともに、多くの人に見守られているという安心感の中で4月の学校生活を送ることができました。1年生も6年生も「エプロンたい」の皆さんもみんな笑顔でした。



1年生に牛乳パックの開き方を教える6年生



1年生の給食のお手伝いをする「エプロンたい」の方々

「エプロンたい」「花壇たい」などシニアボランティアの皆さんの活動も4年目に入りました。様々なところで学校教育を支えていただいています。こうした活動が充実してきたのも「学校地域コーディネーター杉浦さん」のお力によるところが大きいです。ありがとうございます。

5月からは「花壇たい」と3年生との活動がはじまります。今年はどんな草花が花壇に咲きほころぶか楽しみです。